

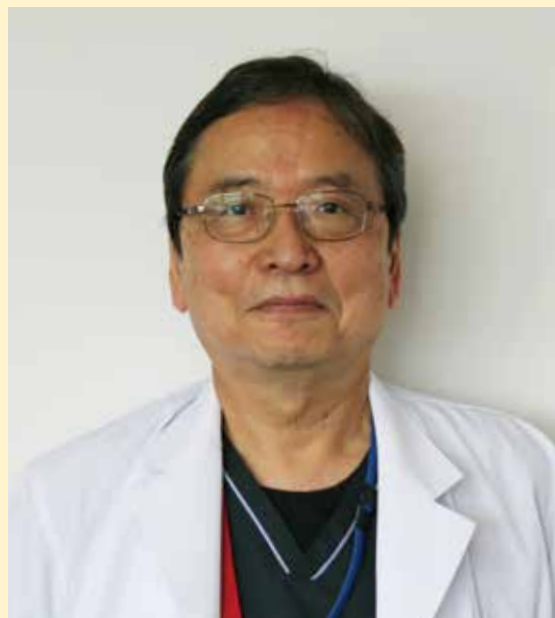
# 誠心 まごころ

第18号  
2023年7月1日 発行

発行  
医療法人社団 誠広会  
平野総合病院

## 救急センターの紹介

救急センター長 定光 大海



救急受入れを充実するため救急センター(救急外来)を本年4月から立ち上げ、救急医療を専門とする医師として着任致しました。

急病、発熱及び熱中症など急変時にしっかり対応でき、地域から信頼される医療機関を目指しております。

当院は、急性期から慢性期の複合型病床(ケアミックス)をもち、地域の医療、福祉の起点として貢献しております。一方、多種多様な傷病を抱え受診される中には、軽症とみえても重篤な病態を抱えておられる場合があります。救急医療には全身を診る総合的診療と迅速対応するための全身管理が求められます。総合的診断のため、血液検査や画像検査など多様な設備に加えて、医師、看護

師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種が加わったチーム医療体制で患者さんの治療を行いたいと思っております。当面は救急搬送された軽症、中等症の患者さん及び施設から依頼がある高齢者の方の診療を中心に診ていきます。

新型コロナウイルス感染症など発熱の症状、夏にかけ増える熱中症などの患者さんに対応できる体制を備え、診察の結果、重症と分かればより高度な救急医療機関への転院も地域医療連携センターを通じて迅速に調整を実施致します。近隣には岐阜大学医学部附属病院をはじめ高度医療機関があり、重症患者さんの受入れ連携体制が出来ております。当院では、高度医療後の在宅復帰のための地域包括ケア病棟があり、退院後の連携体制も出来ております。

将来的には診療科が特定できない重症患者さんの治療にも対応できるような救急センターを目指しております。介護、療養施設で些細な症状から重症化、急変する高齢者への対応など、救急外来では施設からの依頼、相談に迅速に対応する窓口機能も担いますので、不安があれば、まずご連絡下さい。高齢者の急変は生命の危機に直結致しますが、早期に診ることで住み慣れた生活環境(療養生活)に戻ることが期待できます。

まずは、外来において緊急性、重症度の評価を行い、適切な診療方針を決めることが大切です。地域医療に貢献して参りますので、救急センターにご期待下さい。

# 新入職員の紹介

## 看護部

### 片山 泰葉(東3階病棟)

患者さんに安心を与えられる看護師になりたいと考えています。まずは毎日の業務を真剣に取り組み、看護の知識・技術を確実に身につけます。患者さんと積極的に接していくことも心掛け、日々の関わりの中から看護師としての寄り添い方についても学んでいきたいです。病院のスタッフの一員として、早く役割を担うことができるよう頑張ります。よろしくお願いします。

### 伏屋 玲亜(東3階病棟)

入職して先輩方からのご指導のもと様々な看護技術を実践し、少しずつ出来る事が増えてきて喜びを感じています。患者さんから信頼してもらえる看護師になれるように技術の向上や知識を深めていくことはもちろんのこと、常に明るく笑顔で患者さんと接していくことを大切にしていきたいです。まだまだ分からない事や不安な事が沢山ありますが、ひとつひとつの学びを大切にし日々向上心を持ち頑張ります。

### 小原 悠人(西2階病棟)

看護師として、患者さんに信頼・安心して頂けるように、常に患者さんの気持ちを考えて行動していきたいです。まだ分からないことばかりですが、先輩を頼りに知識の幅を広げていけるように努力します。

### 永井 奏帆(西2階病棟)

私は、患者さんに寄り添いながら正しい知識と技術で看護を提供できる看護師を目指したいです。患者さんの状態を把握して患者さんの生活背景に合わせた個別性のある看護を行いたいです。

### 舟橋 麻凜(西2階病棟)

日々学ぶことはたくさんありますが、患者さんにとってより良い看護が提供できるよう、一日一日学びを深め、知識・技術を磨いていきたいです。また、どんな時も笑顔を忘れず、患者さんの声に耳を傾け寄り添える看護師を目指して頑張っていきたいです。

### 西村 優人(西3階病棟)

今年の抱負は、日々業務に真摯に取り組み、看護師としての基礎的な事を身に付けながらも自らの看護観を実現していく事です。そのために、積極的に新しい業務を学んで自ら実践していき、患者さんが中心となる看護を行えるように発言や行動を心がけていきたい。

## 福澤 江利花(西3階病棟)

常に患者さんの立場に立って考え、患者さんの痛みや不安に寄り添うことのできる看護師になりたいです。

常に自己研鑽を怠らず、患者さんに高度で質の高い適切な看護を提供できるよう、努力します。

## 山上 海音(西3階病棟)

患者さんの心に寄り添うことのできる看護師になりたいです。患者さんの症状や日常生活の様子を一番近くで観察することができるため、コミュニケーションの時間を大切にしていきたいです。

## 可児 うらら(外来)

患者さんやご家族の方とのコミュニケーションを大切にし、患者さんの痛みや不安に共感し、その解決に向けた支援を行っていきたいです。まだまだ知識も技術も未熟なので、患者さんに安心してもらえるよう専門的知識や技術を身につけ先輩方からアドバイスや指導をいただきながらより良い看護を提供できるよう日々努力していきたいと思います。

## 平山 乙葉(外来)

入職してまだ間もないですが、日々先輩方からご指導を受けながら知識や技術の習得に励んでいます。慣れない業務に不安もありまだまだ覚えることはたくさんありますが、少しでも早く戦力となり患者さんやご家族に安心した看護を提供できるよう勉強していきたいです。

## リハビリテーション課

### 福留 春花(理学療法士)

今年度で理学療法士になり3年目になりました。今までの経験を活かし患者さん一人一人に寄り添い、安心して生活していけるよう心がけて行きたいと思っています。まだまだ至らない所が多いため、先輩方や他職員の方々に色々教えていただきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

